

授業科目名	語学・文学総合演習（国語学）(2100254)		
時間割名	語学・文学総合演習（国語学）(11109)		
時間割担当	桑原祐子		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・1		

授業の目標・概要

中学校・高等学校の国語科教科書で扱われる「言語事項」に関して、受講生が自ら研究発表を行い、それについて受講生全体の討論を行う。研究発表を通して、国語の教師として必要な国語学に関する知識の再確認を行うと共に、さらなる国語学の知識・国語学の知識に基づく表現技術の定着を図る。

学習の到達目標

- ・国語の教師になる上で必要となる言語に関する基礎的知識を定着させる。
- ・国語学の知識を有機的に国語の授業に関連づけることができる。
- ・教科書に取り上げられた「言語事項」を教材として授業に生かすことができる能力をつける。

授業方法・形式

- 1 それぞれのテーマに対する発表者の報告内容にそって、授業者が解説を加える。
- 2 必要に応じて、取り上げるテーマに関する受講生の意見を求める。
- 3 発表者の発表技術について、ディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション 研究報告の方法と報告内容について説明を行う。担当者を決定する。
- 第2回 文字・表記に関する事項1 漢字に関する事項、日本語表記のための補助符号、ローマ字・平仮名や片仮名に関する事項をテーマに発表する。
- 第3回 文字・表記に関する事項2 漢字に関する事項、歴史的仮名遣いに関する事項をテーマに発表する。
- 第4回 語彙・語法、言葉の意味に関する事項1 似た意味をもつ言葉、反対の意味をもつ言葉、いろいろな意味をもつ言葉、漢語・外来語に関する事項をテーマに発表する。
- 第5回 語彙・語法、言葉の意味に関する事項2 漢語・和語・外来語、類義語・対義語・多義語など語彙に関する事項をテーマに発表する。
- 第6回 文法に関する事項1 様子を表す言葉、主語と述語、修飾語、こそあど言葉、文と文をつなぐ言葉に関する事項をテーマに発表する。
- 第7回 文法に関する事項2 指示する語句と接続する語句、言葉の単位、単語の分類、自立語と付属語、文の組み立て、用言の活用に関する事項をテーマに発表する。
- 第8回 表現に関する事項1 書き言葉と話し言葉、生活の中の敬語に関する事項をテーマに発表する。
- 第9回 表現に関する事項2 話し言葉と書き言葉、方言と共通語、様々な表現技法、敬語のシステムに関する事項をテーマに発表する。
- 第10回 古典に関する事項1 言葉は変化すること、ことばに備わる語感に関する事項について発表する。
- 第11回 古典に関する事項1 古典の言葉、訓読の方法とその背景に関する事項について発表する。
- 第12回 その他の事項1 国語辞典、漢字辞典の使い方に関する事項について発表する。
- 第13回 その他の事項2 言葉の歴史的变化とその影響、世代による言葉の違いに関する事項を発表する。
- 第14回 その他の事項3 地域による言葉の変化、社会の中の言葉について発表する。
- 第15回 これまでの発表についての纏めをおこなう。

成績評価の基準

研究発表50%、研究発表に関するレポート30%、授業（特にディスカッション）への参加度20%の割合で、総合的に評価する。

授業時間外の課題

- 1 中学校・高等学校の教科書を読んでおくこと。
- 2 発表内容に関する参考文献を必ず調べること。

メッセージ

教材・教科書

テキスト：学習指導要領

参考書

参考書：中学校及び高等学校の教科書、発表内容に即して、適宜参考文献を紹介する。